



2014年12月19日(金)～

2月4日(木)の活動

○ 新春経済懇談会

1月27日(火)

金沢市

中部経済産業局の井内局長、同関電力・ガス北陸支局長、北陸地方整備局の野田局長ら11名の来賓を迎え、懇談会を金沢ニューグランドホテルにて開催し、会員約160名が出席した。

懇談会に先立ち、北経連の「平成27年度事業活動方針」について記者会見が行われた。永原会長は「北陸新幹線については、敦賀までの確実な早期開業や、大阪までのフル規格による早期全線整備に向けて取り組んでいく。エネルギー政策については、安全性が確認された原子力発電所の速やかな再稼働を要望する。また、観光については、首都圏等へのPR・誘客活動に引き続き力を入れていく」などの考えを示した。

懇談会においては、日銀金沢支店の白塚支店長が、「最近の金融経済情勢について」と題して講演した。足元の金融経済環境の変化や、量的・質的金融緩和の導入・拡大、経済・物価の見通しについて説明があったほか、地域の魅力を向上させ、新幹線開業を継続的な地域活性化につなげることの重要性についても説明があった。引き続き、新年祝賀会が開催された。

(担当：宗田)

○ 北陸フォーラム

2月2日(月)

東京都

北経連と北陸電力は、富山県・石川県・福井県・中小企業基盤整備機構ほかの後援、北陸銀行・北國銀行・福井銀行・JR東日本・JR西日本の協賛のもと、東京のサントリーホールに於いて「北陸フォーラム2015」を開催した。永原会長をはじめ、川田副会長、高木副会長、小田広域観光推進委員長、北陸三県関係者や首都圏各企業の幹部、観光関係者など、1,100名が参加した。

講演会では、双日総合研究所副所長の吉崎達彦氏が「2015年の経済情勢を読む」と題して講演されたほか、北陸地域の企業誘致PRビデオを放映した。

懇親会では、北陸AKB(甘えび・カニ・ブリ)や、北陸の郷土料理、地酒のほか、道場六三郎氏のオリジナル料理も提供された。王理恵氏(富山県入善町食育大使)からの北陸応援トークや、北陸新幹線グッズアスタントによる北陸新幹線PRも行われた。来場された皆さんは北陸の「食」を堪能され、会場内は終始賑わった。

PR展示コーナーでは、北陸の企業立地環境や観光のPR、各県の特産品の販売などが行われたほか、北陸新幹線実物大パネルや車両模型などの北陸新幹線PR展示に人気が集まった。

(担当：小林)

○ コンバートEV研究会

1月8日(木)

金沢市

(一財)北陸産業活性化センターとの共催で今年度第1回研究会を開催した。

今回は、産学官の7団体の方々に参加し、福井県産業労働部の保坂武文プロジェクトマネージャーを講師に迎え、福井次世代農業プロジェクトにおけるEVの活用などについて講演いただくとともに、各メンバーの取組みの報告や意見交換を行った。

(担当：平田)

○ 第5回北陸地域連携プラットフォーム

1月20日(火)

金沢市

北陸三県の経済団体や金融機関等が集まり、北陸地域経済の課題を議論する北陸地域連携プラットフォームの第5回会合が1月20日に開催され、当会の水野専務理事が出席した。

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局の菊地和博次長より「地方創生に向けた施策等について」と題して、また、牧野百男鯖江市長より「鯖江から国を変える～住みたくなる、住み続けたくなる町、鯖江の創造～」と題して講演があった。地方創生に向けた国からと現場である地方自治体からの、それぞれの施策等の紹介があり、その後、活発な意見交換を行った。詳細は、下記参照。

<http://hokuriku.mof.go.jp/kouhou/platform.html>
なお、当会HPからもご覧いただけます。

(画面左下にバナーを貼り付けております) (担当：前田)

○ 新入会員のご紹介

〔株式会社東京立山製作所〕

代表取締役 望月 昇

(業種：弱電部品製造 他)

〒145-0071

東京都大田区田園調布4-44-3

Tel：03-3721-6572 Fax：03-3721-6572

今後の主な活動予定

□ 平成27年2月19日(木)

会員懇談会(福井会場)

<場所：ホテルフジタ福井>

□ 平成27年3月5日(木)

北陸産学連携交流会

<場所：金沢都ホテル>

現在参加申込受付中：締切2月13日